

学校運営協議会(第2回)議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	平成30年 12月 13日(木) 10:00 ~ 12:00
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	高塚 良則(会長) 八尾 康典(委員) 松浦 弘志(委員) 岩出 るり子(委員) 森近 美子(委員) 千原 義昭(委員)当日欠席
出席者(学校)	西村 誠三(校長) 室田 澄江(教頭) 大根 智大(教頭) 麻生 豊(事務部長) 相馬 寿子(首席) 大西 直子(首席・中学部主事) 西島 洋美(首席・高等部主事) 山田 恵子(指導教諭・小学部主事)
傍聴者	1名(本校保護者)
協議資料	平成30年度 学校経営計画及び学校評価 学校教育自己診断 アンケート結果について 授業アンケート(報告) 人権の取り組みについてのアンケート 人権教育のテーマ・重点目標の全体図 各学部 キャリアプランニングマトリックス
備考	

議題等(次第順)
(1)校長挨拶 (2)議事 ①本校の「平成30年度学校経営計画及び学校評価」進捗状況について ②「学校教育自己診断」について ③「授業アンケート」について ④その他 意見書(今回は無し) (3)今後の予定
協議内容・承認事項(校長より内容説明)
<p>《平成30年度学校経営計画及び学校評価》進捗状況について》</p> <p>①安全安心力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重の教育推進に向け、教員の言葉・行動の質を高めていく取り組みとして、セルフチェックシートを用い教員が自分の行動を毎月振り返り見直しをする時間を設定している。 ・各学部の人権学習マトリックスを活用して授業実践を行っている。人権尊重に関する取り組みは大変大事な部分であり、実効性のあるものにしていく。 ・人工呼吸器を必要とする子どもたちが、医師の付き添いのもと泊付行事に参加した。 ・医師に学校を巡回指導してもらっている。子どもたちの様子をみたり、看護師への指導助言をしてもらっている。 ・今年度は地震、台風、停電などがあり、保護者への連絡や子どもたちの身をどう守るのかなど、実際に対応。安心安全メールや通学バスの無線などを今後も活用する方向でいきたい。 <p>②授業実践力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂を受け、授業計画であるシラバス(年間計画)の作成、見直し作業を進めている。 ・研究授業後の研究協議会にて、授業の振り返りとともにグループワークでさらに授業改善に向けて一歩進んだ協議を行っている。 ・他学部の授業を見学に行きやすいように、授業見学週間を設けたり体制作りをしたり工夫している。 ・自立活動の充実に向け、外部からの専門家を招いて研修を行っている。 <p>③組織力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の専門性向上をめざした研修を実施。教員の研修の満足度は昨年度が76%、今年度は77%。 ・学習指導案、教材、業務などの「アーカイブ化」については課題のひとつであり、今後充実を図っていく必要がある。 ・教職員の働き方改革については、産業医による断捨離診断を実施するなどして働きやすい職場環境作りを進めている。教員の自己診断の結果、昨年度の68%から73%に向上している。 <p>④発信力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区の小中学校の障がいのある子どもが本校で学ぶ機会を持つ取り組み「校区・支援学校交流」については、今年度まだ0件である。市教委の方と情報共有しながら取り組んでいきたい。 ・近隣の福祉委員の方に来ていただき、子どもたちに昔遊びの体験を覚えてもらっている。今後も続けていきたい。 ・人工呼吸器を必要とする子どもたちが保護者の付き添いなしで学校で学ぶという取り組みは全国的にはまだまだこれからのものであり、本校から発信をしていくところである。 <p>《「学校教育自己診断」について》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に実施。提出率が教職員100%、保護者も昨年度56%が今年度64%となり、多くの方にご協力いただいた。 ・昨年度は「よくあてはまる・あてはまる」の%値が低い項目のうち3つを重点課題とし、課題解決のために検討。(「子どもの情報共有・引継ぎ」「教育のための時間」「学校運営への教職員の意見の反映」)

- ・今年度は、「わからない」という回答が多い項目に着目した。わかりにくいところをどのように発信していくか、どのように工夫してわかりやすくしていくかについて考えていく。
(保護者のアンケート結果より「進路に関すること」「いじめに関すること」「個別の教育支援計画の連携について」等、教職員アンケート結果より「いじめに関すること」「教職員の適性に応じた分担について」「地域へのセンター的機能について」等)
 - ・また「よくあてはまる・あてはまる」の%値が昨年度より伸びた項目についても重点的に考察し、何がよかったのか、今後も守っていくべきことについて再確認し、次年度に活かしていきたい。
- 《「授業アンケート」について》
- ・1学期と2学期の計2回実施。概ね評価をいただいている。
 - ・自由記述の中では、肯定的なご意見とともにご要望などもあり、学年や学校全体で周知していくようにしている。
 - ・いろいろなご意見をふまえてさらに授業改善をすすめていきたい。

協議内容・承認事項(委員からの意見の概要)

委員

- ・項目が多岐にわたっており先生方に負担ではないか。
新聞にのっているが学校の先生方のストレス、保護者の方との人間関係などいろんな形でストレスがたまっていると思う。ストレスが解消されてはじめて目標が達成されるのではないか。それが学校現場だけではかなり厳しいものがあるのではないか。限られた時間内で業務をこなすのは厳しい状況であるのではないか。業務の整理も含めて負担になっているのではないか。
アンケートの中で気になったのは、教員21番。「適性能力に応じた校内人事がなされているか」の項目が昨年よりあがっているがそれでもまだ半分。半分以上とするのか、どう評価するのか。達成するためには先生方の労働環境が重要な要素を占めると思う。

校長

- ・とても大事な本質的なところだと思う。教員の働き方改革は大きなテーマ。
本校は定時終業17時にというのは無理だが、19時には完全退庁としている。
授業準備などのために時間延長をしてほしいとの要望はあるが、それをするとまず間違いなくどんどんと残業時間が増えることとなる。準備してくれている教員に帰れとは言いきれない。意識ではなく、まずは形を変えることがポイントだと思う。
例えば19時退庁という形に変えることで月80時間を超えるような残業はなくなっている。
教員が倒れるということはどう防ぐか、形を変えていくのも管理職の仕事だと思う。
- ・児童生徒の下校が15時20分。15時半から16時15分の45分間が休憩時間であるが、その間も会議、清掃など入ることが多く大きな課題である。
ではしっかり休憩を取り、残りの17時までの45分間で日々の授業準備と校務運営ができればいいのかといわれると大変難しい。
また職場のストレスチェックに関して総合結果の分析をまだ見ていないが、ストレス傾向は微増傾向にあるとも聞いている。
どこの形をどう変えていくのか検討、相談していきたい。

委員

- ・私たちの学校も評価委員会をしている。数値的に進捗状況や達成状況がオープンになる時代になったので、より細かく様々な角度から学校を見られるようになった。生徒、保護者、地域の方からの要望、目線が明らかになってきた。要望が高まってきた気がする。それに答えようとすると時間・エネルギーが必要。そういうのと働き方改革の流れと反比例している。それに苦慮している。悩んでいる。
- ・ストレス微増ということだが、高い教育目標を作れば作るほど、先生方はしんどいと思わずやるぞとなるのではないかと
思うが、なかなかそうさせてもらえない。先生方の健康や働き方を考えないといけないうのかなあと苦慮する。
- ・P2の3番「産業医による断捨離診断実施」について詳しく聞かせて欲しい。

事務局

- ・産業医の方に毎月来ていただいて、先生方の健康などの相談をさせてもらっている。職員室で忙しくなればなるほど机が書類で山積みになる。その予防のため、作業スペースを確保しましょうということも、産業医の先生に学期に1回の頻度で整理ができていくかチェックしてもらっている。

委員

- ・机上整理だけでなく、働き方改革につながる実感があるか？
- ・会議資料を代表で机に置いていたが、ワークスペース確保のため、会議資料は書類庫に入れるようにした。
棚を設置し、古い書類も断捨離をして、誰でも書類庫に行けばすぐに資料を探せられるようにした。

委員

- ・「発信力の向上」のところで地域に開かれたという項目があったので、支援の必要な児童生徒の指導など様々教えていただいて力添えいただけたらと思う。

校長

- ・府には地域支援整備事業のシステムもあり、本校も協力できると思う。

委員

- ・私たちは居住空間における看護サービスなので学校が対象にならないが、東京はバスに看護師乗る取り組み進んでいる。10年前より人工呼吸器や気管切開の生徒増えている。人工呼吸器の生徒の保護者が付き添わなくてよい取り組み、訪問看護が何か使えないか、わたしたちも自分たちから発信していきたい。

委員

- ・アンケートについては、すごくいいと思っているか、よくないと思っている親が書いているのでは。回収率を上げるには、授業参観後その場で書いてもらうようにしたら提出する保護者が増えるのでは。

委員

- ・教員の働き方改革については教員は子どもに対して時間をかけたいという思いが強い。それと仕事の効率化と相反するところがある。そういう部分を見える化して、みなさんで検討していただいたほうがいいのかなと思う。
- ・学校教育自己診断の目的に「学校経営計画の達成を点検し」というのがある。重点項目の内容が学校教育自己診断に入っているか再チェックしてほしい。

次回の会議日程

日時	平成 31年 2月 21日(木)10:00~12:00
会場	大阪府立交野支援学校 校長室